

告示後初の週末

# 両候補街頭、住宅街へ

## 人出の中で支持訴え

4月11日投開票の知事選は27日、告示後最初の週末を迎えた。立候補している新人で医師の門祐輔候補(54)―共産党推薦―と、3選を目指す現職の山田啓一候補(56)の2人はそれぞれ、人出を求めて街頭に繰り出したり、住宅街を選挙カーで回ったりして支持を訴えた。

# 2010 知事選

### 門候補

門候補は京都市と宇治市を駆け巡り、街頭演説や個人演説会に臨



支持者らとランニングする門候補  
―左京区で



スーパー前で握手を交わす山田候補  
―八幡市で

んだ。マラソンが趣味で、鴨川沿いに5キロをランニングして体力もアップ。演説には共産党国会議員らも駆け付け「国政と共に府政も転換を」と訴えた。朝、右京区京北町から街頭演説を開始。北区の新大宮商店街では穀田恵二衆院議員と練り歩いて買い物客らに支援を求め、午後2時半から京阪出町柳駅前の鴨川河川敷をジャージ姿で走り始めた。

府庁まで約5キロのコースで、憲法9条を守ろうと活動する「ランナース9」の仲間10人も伴走。通行人に駆け寄り握手を求め、烏丸三条交差点などで立ち止まり演説した。

「お金がなくても医療を受けられ、大学を卒業できる社会が当たり前」「命を守る仕事をしてきた者として9条を守る姿勢を京都から発信する」と強調。

「府庁でも非正規雇用が増えて」「経済対策にも重点を置き、現状を根本的に変えて

いく」と、現府政批判を交えて主張した。完走後も息切れはなく「フルマラソンに例えると40キロを過ぎた辺り。投票日に向けてラストスパートするのみ」。

夜には4カ所個人演説会を開き、夏の参院選京都選挙区に出馬する成宮真理子氏も参加した。【玉屋敷啓子】

### 山田候補

これまで2日間を京都市内での活動に充てた山田候補はこの日初めて府南部へ向かい、宇治、久御山、八幡、長岡京、大山崎、向日の各市町を巡回。地元市長や府議・市議らの同行を受け、各地域ごとの課題や展望に触れながら2期8年の実績をアピールした。

「伸びていく南部の拠点として府市協調で前へ進めていきたい」。八幡市のスーパー前で選挙カーを降り、買い物客らを前に演説。「行政改革を行い、みなさんの老後の福祉、安定した地域社会を作る

ため財源をしっかりと作り出さねば」「8年間で850人の職員を削減する一方、先生と警官は増員した」などと強調した。

続いて住宅街の路地を選挙カーで回り、助手席からマイクで「行政改革なくして教育福祉の充実はない」「財源を確保し福祉教育の充実に努める」「税金を効果的に使ってみなさんにお返しする」と

訴えた。別のスーパー前で演説後には、集まった数十人の女性の一人一人に声をかけながら握手。同行した明田功市長も「2期8年間、八幡のためにしっかりと頑張っていたらいい」と支持を求めた。

夜は宇治田原、宇治、井手、木津川の4市町で個人演説会に臨んだ。【太田裕之】

期日前投票 初日は2270人

府選管は27日、知事選の期日前投票初日(26日)の投票者数は府内全体で2270人だったと発表した。4年前の前回(1369

人と比べると65・81%増となった。このうち京都市内は前回より60・61%増の1256人で、全体の約55%と有権者の割合とほぼ同じだった。

【太田裕之】